

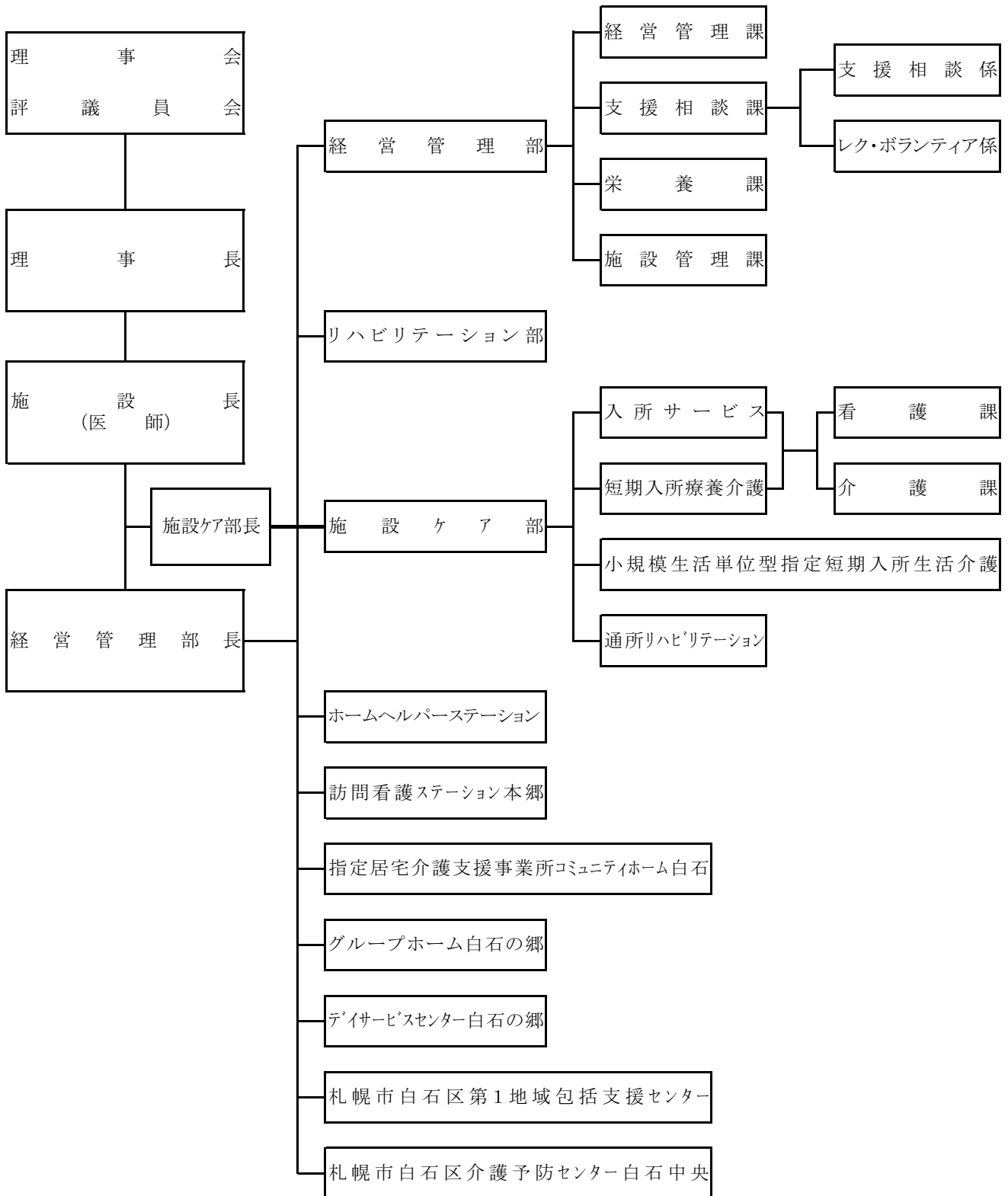
コミュニティホーム白石

〔 I 〕 施設機構

1. 現 況

名 称	介護老人保健施設 コミュニティホーム白石
開 設 年 月 日	1989年4月10日
所 在 地	札幌市白石区本郷通3丁目南20番1号
事 業 の 種 類	介護老人保健施設
事業内容及び付帯事業	①入所 ②短期入所療養介護 ③通所リハビリテーション ④訪問介護 ⑤居宅介護支援 ⑥地域包括支援センター ⑦介護予防センター ⑧短期入所生活介護(ショートステイセンター) ⑨訪問看護 ⑩認知症対応型共同生活介護(グループホーム) ⑪通所介護
施 設 定 員	施設入所 100名(短期入所療養介護含) 通所リハビリテーション 50名 短期入所生活介護 19名
療 養 室 (居 室) 構 成	4人部屋・・・21室 2人部屋・・・8室 1人部屋・・・19室(短期入所生活介護)

2. 組織図



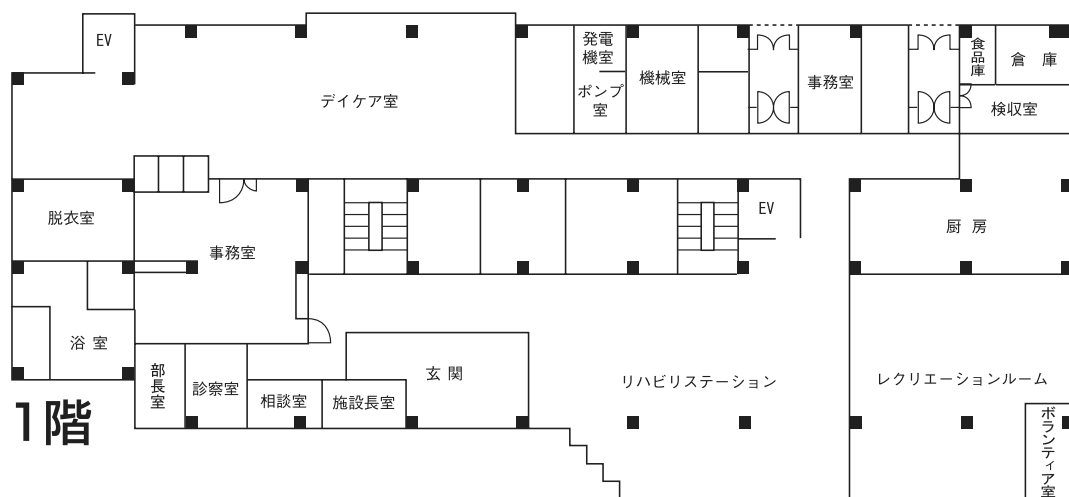
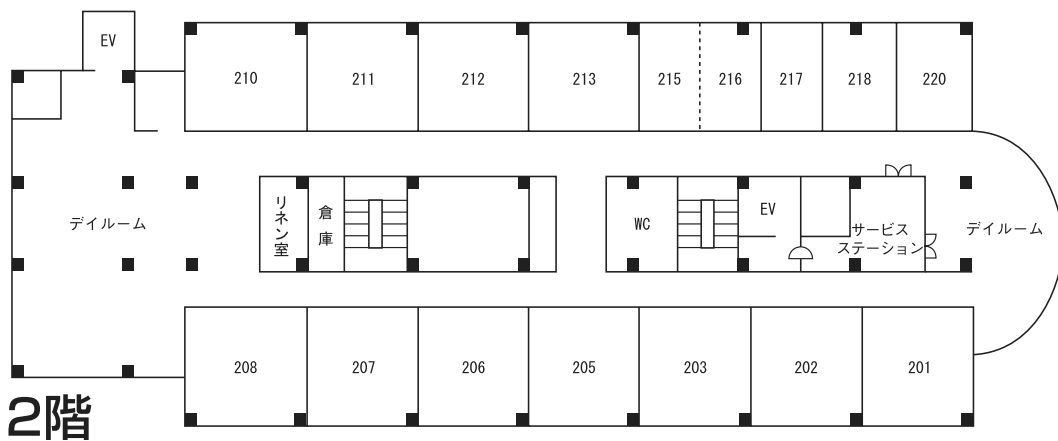
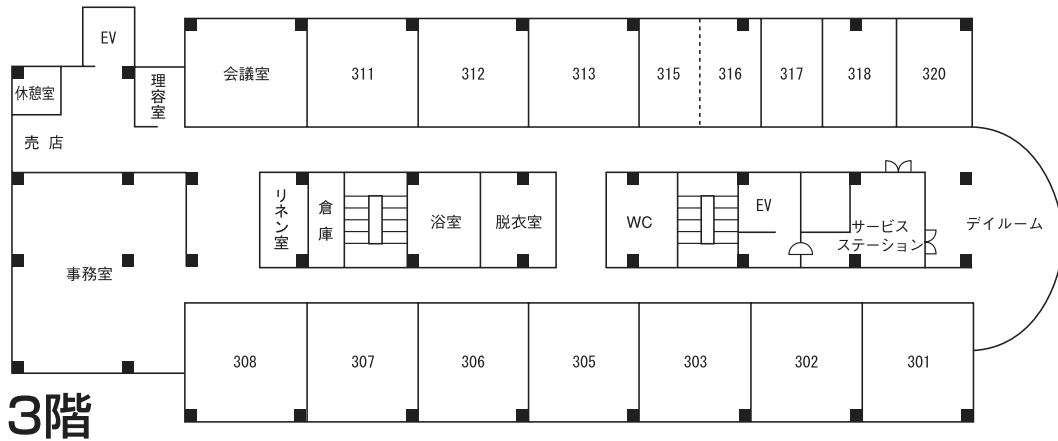
3. 諸会議・委員会

会議名	開催月	会議内容	参加者
運営会議	毎月第2木曜日 13:30～15:00	施設運営に係わる事項の決定機関(収支・方針・課題等) *年2回のマネジメントレビューを兼ねる。	施設長・経営管理部長・施設ケア部長・各部署課長・主任・副主任・在宅事業並びに白石の郷所長
安全衛生管理委員会	毎月第2木曜日	施設、在宅の各サービスの事故や労働環境等の改善について検証し、適正な管理を行う。	施設長他各部署委員
判定会議	毎週木曜日 13:45～14:00 (第2木曜13:15～13:30)	入所・短期入所・デイケア・グループホーム・デイサービスの利用の可否を検討・判定する。 *月末の開催日には、利用の継続についての可否や心身状況のレベル評価・判定する。	施設長・経営管理部長・施設ケア部長・看護師長・看護師・介護員・リハビリ職員・栄養士・支援相談員
内部品質監査委員会	年2回 (必要に応じて随時)	品質システムの維持管理の為に内部品質監査実施計画の立案・監査・実施・検証・改善・是正を行う。	品質管理責任者・各部署内部監査委員
ISO会議	随時開催	品質システムにおける、課題や改訂等一連の管理を行うことと広報活動により職場内への浸透性を図る。	品質管理責任者・他各部署ISO推進委員
ケアマネジャー会議 (施設・在宅)	毎月1回 (議題に応じ変更有)	介護保険制度関連の新規情報・学習等を通して入所並びに在宅のケアプラン等の関連事項を検討する。	入所ケアマネジャー・居宅介護支援事業所ケアマネジャー等
給食会議	毎月第2木曜日 13:00～13:15	食事サービスに関する献立を始めとする一連の課題や協議事項を委託業者を交えて検討し、質の向上を図る。	主任栄養士・委託業者栄養士・調理主任・SW・施設ケア部長・経営管理部長・看護師長・介護主任・通所リハ主任・他
部内会議	毎月1回	月間予定や業務調整などを検討する。	施設ケア部長・看護師・介護員
ケアカンファレンス	毎月2～3回程度 木曜日 14:00～15:00	入所者一人一人の課題について協議し、ケアプランの策定・変更・修正等を行う。	施設長・施設ケア部長・担当看護師・介護員・支援相談員・栄養士・リハビリ職員・ケアマネジャー・家族等
リハビリテーションカンファレンス	毎週木曜日	入所者、通所利用者のリハビリ計画の検討等を行う。	施設長・リハビリ職員・看護師・介護員・支援相談員・栄養士
居宅介護支援ケアカンファレンス	毎月2回	在宅サービス利用者個々の課題を協議する。	居宅ケアマネジャー・通所看護師・支援相談員・他各関係職員
全体会議	年2回 (3月・9月)	施設、在宅事業に関する決定事項及び周知事項等を全職員対象に意思統一を図る。	施設長・他全職員
緊急感染対策委員会	随時開催	感染の発症や疑い等が発生した場合に緊急的に開催し、処置及び予防等を協議する。	施設長・施設ケア部長・経営管理部長・看護師長・通所リハ主任・他必要に応じて在宅各所長
行事委員会	毎月1回	入所者や家族が楽しめるよう、季節感のある行事を企画し実施する。	レク主任・レク担当者・看護師・介護員・リハビリ職員・栄養士・支援相談員・通所介護員
リスクマネジメント委員会	毎月1回	抑制廃止宣言を受け入所者の安全を確保しながら抑制0を目指すため、方法等を検討する。	施設ケア部長・介護員・看護師・リハビリ職員
記録委員会	毎月1回	入所サービスにおけるケア及び業務上で必要な記録様式に関して、書式・方法を検討し、企画・実施する。	看護師・介護員

〔Ⅱ〕 建物概要

(1) 建物の概要

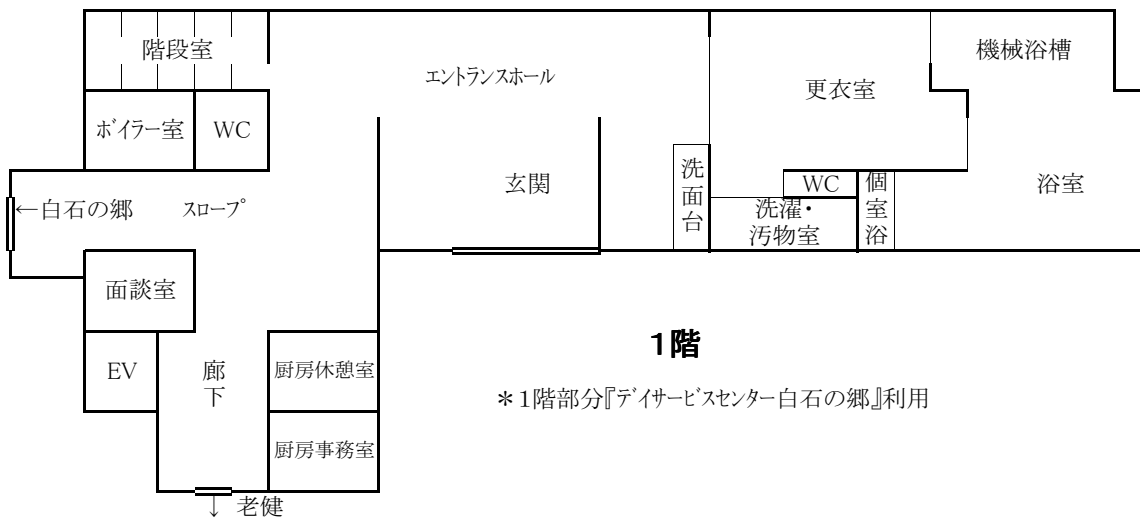
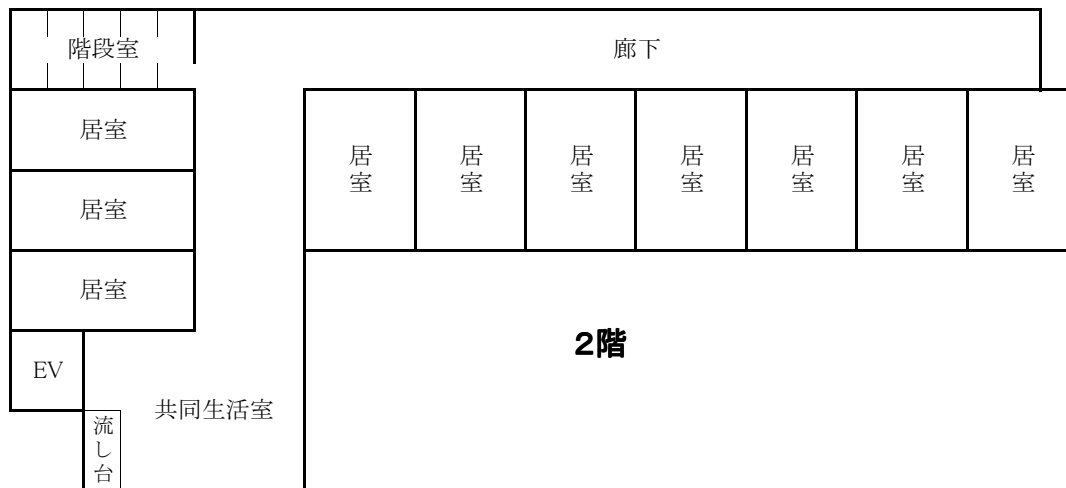
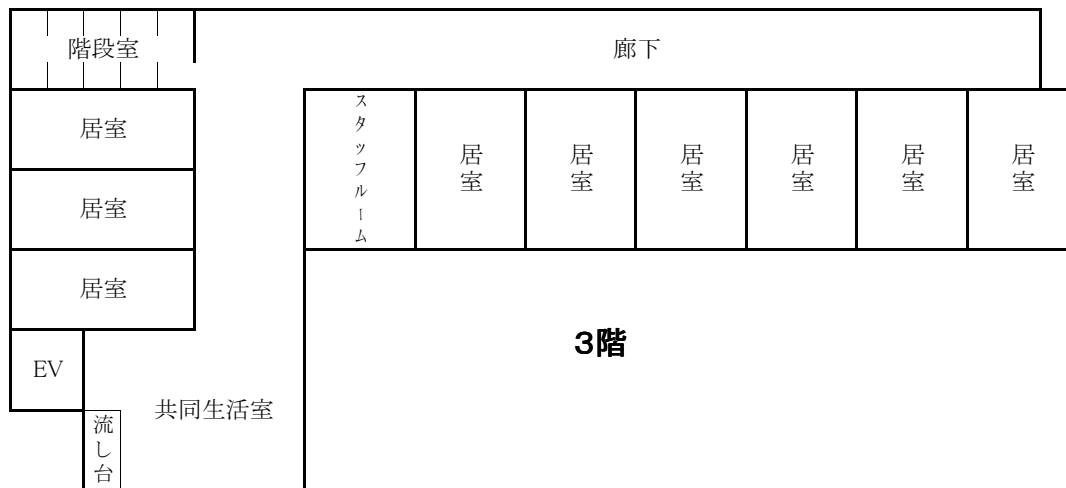
建物構造	鉄筋コンクリート造陸屋根3階建
建物延面積	3,987.75㎡
敷地面積	3,036.24㎡



(2) 建物の概要(ショートステイセンター)

建物構造 鉄筋コンクリート造陸屋根3階建

建物延面積 1,019.91㎡



2006年度 事業報告

コミュニティホーム白石

【入所：定員100名（短期療養含む）】

	目 標	実 績
延入所者数	<u>36,135 人</u>	<u>34,291 人</u>
一日平均入所者数	<u>99.0 人</u>	<u>93.9 人</u>
入所待機者	<u>5 人</u> （3月末現在）	
要介護度状況	： <u>平均要介護度 2.6</u> （短期療養除く）	
協力医療機関	： <u>1. 札幌ひばりが丘病院</u>	
	： <u>2. 白石中央病院</u>	
	： <u>3. 西円山病院</u>	

【通所リハビリテーション：定員50名】※2006年6月より60名から50名に変更

	目 標	実 績
延利用者数	<u>10,686 人</u>	<u>11,063 人</u>
一日平均利用者数	<u>39.0 人</u>	<u>40.1 人</u>
要介護度状況	： <u>平均要介護度 2.0</u> （要支援1・2を除く）	

【短期入所生活介護：定員19名】

	目 標	実 績
延入所者数	<u>5,475 人</u>	<u>5,487 人</u>
一日平均入所者数	<u>15.0 人</u>	<u>15.0 人</u>
要介護度状況	： <u>平均要介護度 2.5</u> (要支援1・2を除く)	

【訪問介護】

	目 標	実 績
延派遣回数 (介護保険)	<u>13,337 回</u>	<u>12,948 回</u>
(介護保険外)		<u>154 回</u>
一日平均利用回数 (介護保険)	<u>37.5 回</u>	<u>36.4 回</u>
要介護度状況	： <u>平均要介護度 1.9</u> (要支援1・2を除く)	

【居宅介護支援】

	目 標	実 績
延作成件数	<u>4,308 件</u>	<u>3,574 件</u>
(うち介護予防)		<u>64 件</u>
要介護度状況	： <u>平均要介護度 2.0</u> (要支援1・2を除く)	

【地域包括センター】

延相談件数 499 件

相談内容（重複有）

介護保険制度：335件 権利擁護：11件 高齢者虐待：8件
 介護予防：79件 その他：64件

会議開催、参加等

	主 催	参 加
運営会議	<u>1回</u>	<u>0回</u>
個別処遇検討会議	<u>0回</u>	<u>0回</u>
連絡会議	<u>0回</u>	<u>11回</u>
サービス調整会議	<u>28回</u>	<u>1回</u>
地区組織関係会議	<u>1回</u>	<u>43回</u>
その他	<u>4回</u>	<u>53回</u>

新予防給付の入手とプラン作成件数

	入手数	直営プラン	再委託
要支援1	<u>335件</u>	<u>150件</u>	<u>44件</u>
要支援2	<u>376件</u>	<u>168件</u>	<u>57件</u>

【介護予防センター（白石中央）】

延相談件数 125 件

相談内容（重複有）

介護保険制度：31件 権利擁護：0件 高齢者虐待：0件
 介護予防：44件 その他：53件

介護予防啓発普及事業実施件数

	実施回数	参加者数
すこやか倶楽部	<u>35回</u>	<u>665人</u>
介護予防教室	<u>0回</u>	<u>0人</u>
転倒予防教室	<u>0回</u>	<u>0人</u>
認知症予防教室	<u>0回</u>	<u>0人</u>
研修会・講演会	<u>1回</u>	<u>50人</u>
その他	<u>0回</u>	<u>0人</u>

2006年度 事業計画

介護老人保健施設 コミュニティホーム白石

1. 基本方針

当事業所は、全国老人保健施設協議会の理念を基に活動する。

介護老人保健施設の理念と役割

理念: 介護老人保健施設は、利用者の尊厳を守り、安全に配慮しながら、生活機能の維持・向上を目指し総合的に援助します。
又、家族や地域の人々・機関と協力し、安心して自立した在宅生活が続けられるよう支援します。

役割

- ①包括的ケアサービス
- ②リハビリテーション施設
- ③在宅復帰施設
- ④在宅生活支援施設
- ⑤地域に根ざした施設

コミュニティホーム白石の運営方針

利用者様のニーズに応え、地域・社会に開かれた最高のサービスを総合的に提供すべく、質の高い信頼されるサービスと地域や家庭と連携のとれた支援体制をご利用者の身になって提供します。

キーワード

信頼と連携

コミュニティホーム白石基本心得

- ①総合支援サービスは、最高・最良のサービスを提供いたします。
- ②常にご利用者様に対して敬愛と慈愛のこころを大切にいたします。
- ③職員は明るく、元気に、爽やかな態度で接します。
- ④サービス提供環境は、常に清潔に努めます。
- ⑤職員は、チームワークのとれた仕事をいたします。
- ⑥保健・医療・福祉を通じて社会的責任を果たします。
- ⑦コンプライアンスの精神を遵守いたします。

2. 具体的目標

コミュニティホーム白石のグランドデザイン

～次世代に繋がる社会福祉事業の展開～

(介護保険制度並びに地域社会の背景に対応できるサービスを構築する)

2006年度の具体的目標は、コミュニティホーム白石のグランドデザインを達成するために、年度毎計画的に進める。

- ①定数確保のための関係作り
 - ・白石地区内に溪仁会グループと病診連携のある病院などをベースにサポート体制を整える。
 - ・近隣の診療所と連携しバックアップ体制を強化する。

- ・今後療養型の廃止に伴い、老健施設の役割が強化されることを想定し、施設の治療機能を段階的に整える。

②地域の特性を生かした支援体制

- ・要介護予備群としてのキャパシティを考慮し、要支援 1.2 並びに要介護 1 レベル層をしっかり確保する仕組みを整える。

③介護保険制度改正の影響に左右されない運営体制

- ・介護保険制度改正に関わる単位減算は免れないが、そのためには定数確保が絶対条件である。重度化に伴う介護量の増加と医療費の増加、老健の長期滞在型化など制度と逆行した施設運営が実態であるため、老健としての機能を生かしたサービス提供とそのサービスが必要な利用者の選択も視野に入れ、社会ニーズにあった拠点を築く。

④全サービスの質の向上とリスク管理の徹底（継続的取り組み）

⑤マネジメント機能の有効活用（ISO・P マーク・BSC）

⑥人材の育成（効果的人材教育＝希望のある職場）

⑦広報活動による白石ブランドの定着